

ONLINE講座 Withコロナ時代のアジアビジネス入門

— 毎日新聞社・毎日アジアビジネス研究所 —

Point 1 最先端テーマ：ホットなテーマをその時に

Point 2 豊富な事例：専門家がリアルに語ります

Point 3 オンライン対話（ZOOM）でアジアをつなぎます

Withコロナ時代のアジアビジネス入門がONLINE（ZOOM）で学べます。
毎日アジアビジネス研究所のネットワークを使って最前線のアジアビジネスの現場を
独自の視点でお伝えします。

【企画にあたって】

新型コロナウイルス感染拡大で世界、とりわけアジアビジネスは先の見通しが立たない、これまで経験したことのない事態を迎えています。毎日新聞社が運営する毎日アジアビジネス研究所は、主にアジアビジネスに関心のある個人やアジア進出を視野に置いている中小事業者を対象にビジネス入門のONLINE講座を開設し、アジアビジネスを理解するお手伝いをいたします。

毎日アジアビジネス研究所長 清宮 克良

■ Withコロナ時代のアジアビジネス入門シリーズ① 「陳言の中国ビジネス入門」北京から最新報告

- (1) 5月1日（金）19：00～20：30 日産、ホンダ、トヨタは本当に大丈夫か？
- (2) 5月8日（金）19：00～20：30 アビガンに続け！ワクチン開発競争の裏側
- (3) 5月15日（金）19：00～20：30 アリババクラウド、オンライン教育のリアル
- (4) 5月22日（金）19：00～20：30 ビックデータ王国の変貌で日本はどうなる？

■ 参加費：シリーズスタート記念で1回3,300円（税込）、4回通しは11,000円（税込）

※次回シリーズ以降は1回5,500円（税込）

■ 申し込み [peatix](#)

■ 講師

陳言（ちんげん）

毎日アジアビジネス研究所シニアフェロー
NewsPicks プロピッカー（コメンテーター）

日本企業（中国）研究院執行院長、経済ジャーナリスト

1960年、北京生まれ。82年、南京大学卒。82-89年『経済日報』に勤務。89-99年、東京大学（ジャーナリズム）、慶応大学（経済学）に留学。99-2003年荻国際大学教授。03-10年経済日報月刊『経済』主筆。10年から日本企業（中国）研究院執行院長。現在は「人民中国」副総編集長も務める。

Mainichi Asia Business Institute

 毎日アジアビジネス研究所

ONLINE講座

Withコロナ時代のアジアビジネス入門シリーズ①

陳言の中国ビジネス入門

北京から最新報告

5月1日
(金)

19:00-
20:30

日産、ホンダ、トヨタは本当に大丈夫か？

#1 サプライチェーンの構造変化

最初に感染が拡大した武漢市周辺は自動車関連工場の集積地で、日本や世界のサプライチェーンが一時的に機能停止に陥る要因となりました。中国ではサプライチェーンの構造を見直す動きも出てきています。日産、ホンダ、トヨタの部品調達はどうなるのか。同じく金属製品、精密機械、化学用品はどうなるのか、最新情報を報告します。

5月8日
(金)

19:00-
20:30

アビガンに続け！ワクチン開発競争の裏側

#2 対応急ぐ介護・医療イノベーション

「アビガン」と同じ成分の薬がコロナに有効との中国の論文が再掲載されました。タバコの葉を使う田辺三菱製薬のワクチンも注目されています。白熱するワクチン開発競争の裏側とONLINEによる医療現場を報告します。

5月15日
(金)

19:00-
20:30

アリババクラウド、オンライン教育のリアル

#3 膨れ上がるオンライン市場

コロナ禍で休校を余儀なくされた教育現場ではオンライン化が加速しています。アリババクラウドなど活用したオンライン授業は個別の生徒の理解度が把握できるなど著しい技術的な進歩を見せています。膨れ上がるオンライン市場の未来像を報告します。

5月22日
(金)

19:00-
20:30

ビックデータ王国の変貌で日本はどうなる？

#4 「内製化」する中国経済

米中摩擦の激化により、ファーウェイは米国から輸入している半導体が調達できなくなるリスクに備え、半導体の内製化を進めている。同様に海外からの輸入品を中国企業の生産に切り替える動きも見られる。あらゆる分野でビックデータを持つ中国が「内製化」する意味と日本とのかかわり方を報告する。

Mainichi Asia Business Institute

 毎日アジアビジネス研究所